



### 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

新年度が始まり一か月が経ちましたが、各学校におかれましては、「学校の新しい生活様式」による様々な配慮の下、子供たちが安心して学べる環境づくりに尽力されていることと思います。さて、令和3年1月26日に開催された中央教育審議会総会にて、「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」（答申）が取りまとめられました。本答申は、Society5.0 時代の到来など、社会の在り方そのものが劇的に変わる状況が生じつつある中で、変化し続ける社会状況を見据え、これからの初等中等教育の在り方について、第I部を総論、第II部を各論として、総合的に取りまとめられています。

### 1、2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿とは

急速に変化する時代の中で、我が国の学校教育には、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を意識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることのできるよう、その資質・能力を育成することが求められているとされました。この資質・能力の育成に向けては、これまでの日本型学校教育の成果と課題を踏まえつつ、学校における働き方改革や、GIGAスクール構想の実現といった新たな動きも加速・充実させながら、新学習指導要領を着実に実施することが必要であるとされています。

その上で、2020年代を通じて実現を目指す学校教育が「令和の日本型学校教育」と名付けられ、その姿が「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」と描かれました。

### 2、「個別最適な学び」とは

これまでも学習指導要領において位置付けられてきた、「個に応じた指導」を学習者の視点から整理した概念であり、これからの学校教育においては、子供がICTも活用しながら自ら学習を調整し、自立した学習者として学び続けていけるよう、「個に応じた指導」をさらに充実していく必要であるとされています。本答申においては、「個に応じた指導」の在り方を具体化したものとして、「指導の個別化」と「学習の個性化」の2つが示されました。「指導の個別化」とは、知識・技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力等や自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度等の育成のため、子供一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じて、重点的な指導や指導方法・教材等の柔軟な提供・設定等を行うことであり、「学習の個性化」とは、子供一人一人の興味・関心やキャリア形成の方向性等に応じ、教師がそれぞれに応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子供自身が、学習が最適となるよう調整することであるとされています。

これからの学校においては、子供が「個別最適な学び」を進められるよう、教師が専門職としての知見を活用し、カリキュラム・マネジメントの充実・強化を図るとともに、これまで以上に、子供の成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援することが求められています。さらに、子供が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるよう、促していくことも必要であるとされています。

### 3、「協働的な学び」とは

「個別最適な学び」を進める一方で、「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう、これまでも日本型学校教育において重視されてきた「協働的な学び」を充実することも重要であるとされています。AI技術が高度に発達する Society5.0 時代にこそ、教師と子供の関わり合いや子供同士の関わり合い、自分の感覚や行為を通して理解する実習・実験、体験活動など、様々な場面でリアルな体験を通じて学ぶことの重要性が一層高まるとされており、ICTも活用しつつ、「協働的な学び」を発展させていくことが必要であるとされました。

各学校においては、教科等の特質や児童生徒の実情を踏まえながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的な学び」の実現に向けた授業改善につなげていくことが求められています。

右記のQRコードから本文をご覧いただけますので、ぜひ一読してみませんか。



## 研修 5月 教育研究所事業予定

6日 (木)	初任者研修③	真和志庁舎
7日 (金)	中堅教諭等資質向上研修②	中央公民館
10日 (月)	特別活動担当者研修会	オンデマンド配信
11日 (火)	標準学力調査 実施説明会	資料配付
13日 (木)	情報教育研修会①	オンデマンド配信
17日(月)～21日(金)	標準学力調査 (小4、中1、中2:国語、算数・数学)	
18日 (火)	教職3年目研修	オンデマンド配信
19日 (水)	研究主任研修会	真和志庁舎
20日 (木)	初任者研修④	真和志庁舎
25日 (火)	教職5年経験者研修	中央公民館

## 小・中標準学力調査

小・中標準学力調査は、学習指導要領に基づいた内容で、全国水準に照らし、妥当性、信頼性の高い調査、分析を実施する調査です。児童生徒の学力状況を把握し、授業改善の視点をより明確にしていくことで、学力向上の推進を目指しています。実施後の結果分析を各学校で確認していただくとともに Web 支援システムの活用を推進し、教育研究所でも課題改善に向けた教職員研修を実施いたします。

## 那覇市様式学習指導案について

那覇市様式学習指導案は、令和3年度版に変更しております。

【単元プランシート】をもとに、【学校デザインシート】における「学校で育てたい資質・能力」や【単元・授業デザインMAP】をもとにした「子供の学びの姿」や「教師の働きかけ」等を記載できるようにし、『沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトII』における「質的授業改善」を具現化するための学習指導案様式になっております。

詳しくは、教育研究所Webページからダウンロードして経年研修、校内研修でご活用ください。なお、学習指導案の説明については、QRコードから動画視聴できます。

